



川の国応援団通信



H28年度川の再生交流会を開催



平成29年2月4日(土)、「さいたま市民会館うらわ」において、「川の再生交流会」流域でつながる次世代とつなげる」を開催しました。川の再生活動に取り組み約400名の皆さんが一堂に会し、盛況のうちに終了しました。

午前の部は、県立浦和第一女子高等学校アナウンス部の小川さんと山崎さんの司会でさわやかにスタートしました。

始めに、県立松山女子高等学校音楽部1年生の皆さんにより、オープニングコーラスが披露されました。曲目は、「上を向いて歩こう」「みかんの花咲く丘」を含めた4曲です。部員さんのユーモアあふれる進行と、聴きごたえのある歌声で、会場が一気に明るくなりました。

埼玉県環境部の宍戸部長からの挨拶に続き、恒例の「川の国埼玉宣言」です。川の国応援団として活動している、栄東高等学校理科研究部の田中さんと長澤さんが宣言の声をけをしてくださいました。会場全員による「川の国 埼玉！」の発声で、一体感がさらに増しました。

★午前の部 講演プログラム★

①【2011年度より継続している芝川の上流から下流までの調査」少しづつ見えてきた生息生物の分布】栄東高等学校理科研究部

②【川のまるごと再生プロジェクト、水辺再生100プラン事業の報告】県土整備部水辺再生課及び埼玉県河川環境団体連絡協議会

③【荒川の再生事業と川の国応援団、埼玉県連の連携】国土交通省荒川上流河川事務所及び荒川の自然を守る会



会場全員による川の国埼玉宣言

午後は分科会が開催されました。流域ごとのテーマ設定、学生交流分科会の実施は新しい試みでした。各会場で活発に議論が進みました。また、長年活動されている方から学生さんまで、幅広い年代の参加者が集まり、交流も深まったようでした。

★分科会テーマ★

①綾瀬川・芝川流域『清掃活動、学習活動、水質改善排水マナー、お楽しみイベント』他

②中川・古利根川流域『流域の川づくり、美化活動、農水路保全、環境学習』他

③元荒川流域『美化活動、魚の保全、歴史をつなぐネットワークづくり』他

④新河岸川流域『湧水を生かした川づくり、河畔林の保全、アユの川のモデルに』他

⑤不老川流域『30年の活動を振り返る、文化と歴史をつなぐまちづくり、新しいネットワーク』

⑥北部・西部(比企・秩父・本庄)流域『川づくりと環境保全(自然と心をつなぐ川づくり)』

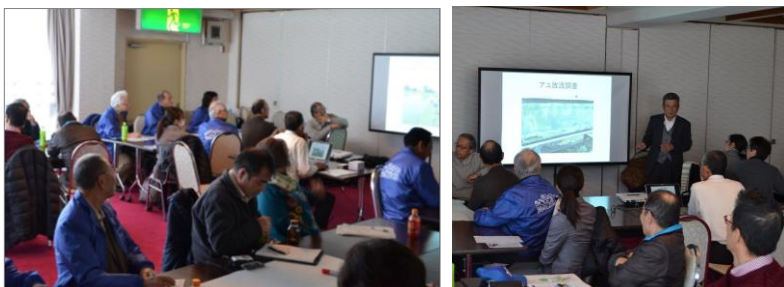
⑦学生交流『水辺(水辺をフィールドに様々な活動をしている学生主体の分科会)』

一方、ロビーには、パネルが展示されました。水質調査の結果や、地域で観察される自然、ムサシトミヨの展示、清掃活動の様子など、応援団の皆さんの活動が紹介されました。

参加者からは、「川の意義、必要性を再認識しました」「流域単位で身近な方々の活動が理解できました」などのご感想をいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！



ロビーでのパネル展示(一部)



分科会の会場の様子

会員のひろば



活動報告

～609団体が県内各地で活動中！～

今回は、2月4日に開催した「川の再生交流会」に参加された2団体からの報告です。

1件目は、午前の講演で部員5名で発表頂いた、栄東高等学校理科研究部からの報告です。

【栄東高等学校 理科研究部1年

長澤 啓太】

こんにちは、栄東中学高校理科研究部です。私たちは芝川という川の調査を長年行ってきました。

そもそも皆さん、芝川という川をご存じでしょうか？芝川は桶川市・上尾市・さいたま市・川口市を経て、荒川に流れ込む一級河川です。私たちが芝川で調査していることの一つに、流域住民の方々に對して行うアンケート調査があります。調査方法はまず私たちが流域住民の方々に直接、封筒に入れたアンケートを手渡す→アンケートに答えていただく→アンケートを学校に郵送してもらうという

たものです。これを1地域100世帯ずつ6地点で行い、計600世帯に実施いたしました。結果、アンケート回収率は71%という非常に高い値でした。流域住民の方々、ご協力まことにありがとうございました。今は皆様からもらったアンケートを集計し、次年度の調査地点の選出などに役立てていきます。

さて、このようにして芝川の調査をしてきた私たちは、このたび埼玉県が主催する「川の再生交流会」でその成果を発表させていただきました。初めてで、発表が始まる前まで不安と緊張でいっぱいでした。しかし、いざ発表が始まると不思議と不安はなくなつて、緊張しつつも自分の発表に集中できました。結果、多くの改善点がありました。発表は無事に成功いたしました。とても貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

今回の我々の発表(年度の研のまとめ)は、栄東高校HPに掲載しています。ぜひご覧ください。



2件目は、第1分科会で発表頂いた、獨協大学米山ゼミからの報告です。

★伝右川再生に向けた支援プロジェクト活動報告

「間伐材を使用したカヌー製作とカヌーを使った川の清掃活動について」

【獨協大学経済学部

国際環境経済学科 米山ゼミ

深澤なつは】

私たち獨協大学経済学部米山ゼミ「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」チームの主な活動は、水質調査や小学校での環境教育、「伝右川再生会議」の開催などです。特に、昨年はカヌーを使った活動に力を入れ、カヌーを使った川の清掃活動や、間伐材を使用したカヌーを製作しました。今回の「川の再生交流会」でも第1分科会にて、カヌーについて発表させて頂きました。

カヌーを使った川の清掃活動は、草加パドラーズの皆さんにご協力いただきながら、護岸からでは回収できない浮遊ゴミを回収し河川景観の美化につなげるとともに、住民の方への啓蒙活動になると考え活動しています。そして、さらに多くの人に参加してもらい、よ

り活発な活動にするために、用し2艘のカヌーを製作しました。夏休みに入る8月から製作を開始し、多くの方の協力のもと約3カ月

かけ完成させました。今回

使用した間伐材は、埼玉県飯能市の西川材です。間伐材を使用することは、森林保全につながることに、流域とのつながりを作ることもなおります。また、大学にとっても、エコキャンパスの推進と大学の独自性を示すことができると考えています。

今後は、大学にカヌーを常設展示し、さらに定期的にカヌー体験会を行い、より多くの人に伝右川について考えてもらうきっかけになればと思います。私たちのカヌーを使った活動はまだ始まったばかりです。これからさらに活発に活動し、伝右川の再生に向けて進んでいきたいと思っております。

★「川の再生交流会報告書」を水環境課のHPにも掲載しています。ぜひご覧ください。



特集

川の国埼玉検定を実施



入門編は733名、中・上級編は20名が挑戦！
新たに14名が「川の国アドバイザー」になりました。

★入門編

8月の「さいたまエコフェスタ in Summer 2016」と11月の「県庁オーブンデー」で入門編を実施しました。

子どもから大人まで、733名の方々が水環境について学び、問題に挑戦しました。

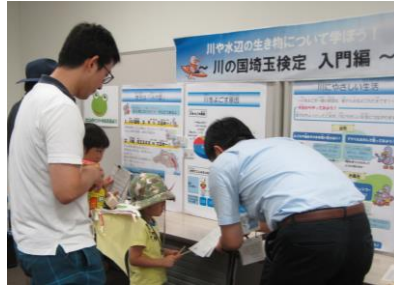
全員が5問中4問以上正解し、記念に認定証とコバトンシールを差し上げました。

★中・上級編

11月26日(土)にあげぼのビルで実施しました。今年は20名が受験し、16名が上級に合格、4名が中級に合格しました。検定の合格基準は正解率80%以上で上級に合格、60%以上で中級に合格です。

上級合格者のうち、14名に「川の国アドバイザー」としてご登録いただきました。ご登録頂いているアドバイザーさんは計94名となりました。川の国アドバイザーは、川の再生活動の経験と知識を持つ川の専門家です。環境学習や講座などでご活躍頂きます。

▼エコフェスタの入門編ブース



▼中・上級編の講義を受ける受検者



川の国アドバイザー フォローアップ研修 のご報告

平成29年3月8日(水)に、川の国アドバイザーの方を対象としたフォローアップ研修を実施しました。

今年度は、「県立川の博物館」の共催の御協力を得て実施しました。新規にご登録いただいた7名を含み、計20名の方にご参加いただきました。

～研修プログラム～

- (1) 埼玉県河川環境と生きものたちの関わり(講義)
講師: 環境科学国際センター 主任研究員 木持謙 氏
- (2) 「荒川」の歴史でこれだけは押さえておくこと!(講義)
講師: 埼玉県立川の博物館 学芸員 羽田武朗 氏
- (3) かわはく体験学習を体験してみよう(体験講座)
- (4) 意見交換会

当日の様子を ご紹介!

①午前中は、アドバイザーさんが講座等でご活用できるよう、埼玉県の河川環境や、荒川の歴史について、講義を実施しました。



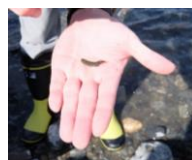
②午後は雨の予報がはずれ快晴でした。荒川の河川敷で、水生生物による水質判定の体験講座を実施しました。水温は9℃で、素手での作業は手がかじかみますが、皆さん積極的に参加され、たくさんの虫が捕まりました。



③学芸員さんの説明のもと、虫の同定をしました。外観では区別が難しい虫も、触った感触で判別が可能との説明に納得されていました。



調査の結果、水質は「きれいな水」でした。



★川の国アドバイザーフォローアップ研修について★
アドバイザーの方々に「ご活動の参考としていただくことを目的」として、実施していただきます。今年度で3回目の開催となり、過去には、埼玉県の水環境に関する講義や、環境学習で役立つ「話し方講座」、水処理施設の見学などを実施しています。

川の国応援団への支援メニュー

川の再生活動に役立つ支援メニューを用意しています。ぜひご活用ください。

資材の貸出し(主なもの)

- 支援を受けるには…口頭で申し込み
- メニュー(主なもの)
 - ▽ ライフジャケット(SS、S、M、F)
 - ▽ タモ網
 - ▽ 観察ケース(大、小)
 - ▽ 胴長靴(M、L、LL)
 - ▽ カヤック(2人乗り)
- 資材保管課所での受取と返却を、お願いします。

資材の提供(主なもの)

- 支援を受けるには…申請書を提出
- メニュー(主なもの)
 - ▽ パックテスト(COD)
 - ▽ のぼり旗、ポール
 - ▽ 軍手、ゴミ袋
- 提供数量には上限があります。
- 郵送等を希望の場合は、送料をご負担願います。

資料・会報等の印刷、講師派遣

- 支援を受けるには…申請書を提出
- メニュー
 - ▽ A4片面換算で1000枚までの白黒印刷
 - (カラーは同100枚まで)
 - ▽ 環境学習の講師派遣、講師への謝金支給。

支援メニューの一部をご紹介します！



■ 応援団ブルゾン

H28年度の川の再生交流会の参加者記念品として好評でした。在庫限りのため、先着、1団体20着までです。色は濃いブルー、サイズはMのみです。

■ 応援団Tシャツ

H25年度の川の再生交流会で好評のため支援メニューとなりました。色は濃い水色、サイズは女性用L、男性用L。1団体20着までです。



■ のぼり旗

イベントや活動場所の目印、アピールとして活用できます。旗を付けるポールもあります。サイズは約45cm×180cm、絵柄は2種類です。(写真は、団体名が記入できるタイプです)



■ 応援団帽子

青地に応援団の文字とコバトンのイラスト入りです。



■ ライフジャケット

貸出では一番の人気メニューです。川ガキ事業などで活躍します。サイズは4種類です。



■ お気軽にお問い合わせください。
 ■ 水環境課のホームページにも掲載しています。
 ■ 支援を受けた場合には、実績報告書の提出をお願いいたします

川の国応援団イベント年間スケジュール

川の国応援団登録団体へご案内する平成29年度の実施予定時期です。

なお、今後変更となる可能性もありますので、実施時期にお送りするご案内で確認してください。
 ふるってご参加ください。

| | | |
|-------|------|---------------------|
| 平成29年 | 5月 | 水生生物講座 |
| | 6～7月 | 川の再生地域交流会 |
| | 6～9月 | 全国水生生物調査 (環境省主催) |
| | 7～9月 | 川ガキ養成事業 |
| | 11月 | 川の国埼玉検定 (中・上級編) |
| 平成30年 | 2月3日 | 川の再生交流会 |

発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301
 さいたま市浦和区高砂3-15-1
 (第3庁舎1階)

TEL: 048-830-3088

FAX: 048-830-4773

E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

☆活動予定や活動報告などをお寄せください。

☆資材の提供や貸出し等のご希望があればご相談ください。

☆連絡先等の変更があればご連絡ください。

川の国応援団のHP

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/kawanokuniouendan/index.html>

